



# チャイルドが暮らす地域のご紹介

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

## 国情報

### ルワンダ共和国



アフリカ大陸の中部に位置し、ウガンダ、タンザニア、ブルンジ、コンゴ民主共和国と国境を接する内陸国。公用語はキニヤルワンダ語、英語、仏語。1990年からの内戦と1994年のジェノサイド(大量虐殺)から20年以上を経て、国を挙げて平和再構築と国の再建に取り組んでいます。



## 地域情報

### グウィザ地域開発プログラム (RWA-190768)

支援期間: 2009年~2025年\*

\*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

グウィザ地域開発プログラムを実施しているカコンザ郡ルカラ地区は、首都のキガリから北東に約78キロメートル、車で1.5時間ほどの場所です。1994年のジェノサイド(大量虐殺)で最も深刻な打撃を受けた地域の1つで、20年を経た今でも傷跡は人々の中に深く残っています。住民の多くは農業や家畜の飼育で生計を立てていますが、年間を通じて十分な食料を得ることができない住民も少なくありません。特に収穫前の4~5月や9~10月は食料不足が深刻です。



## 地域の課題



水汲みのため長距離を歩かなければならない子どもたち。汚い水を飲むことで病気にかかる場合もあります



### 平和再構築

ジェノサイドやその後のHIV/エイズの蔓延で  
**親を亡くした子ども**が多く存在



### 教育

日常生活を送る上で十分な読み書きの能力を持つ  
小学校6年生の割合 **43.6%**(2014年)



### 食料確保・生計向上

年間を通じて十分な食料を得るのが困難な世帯  
**37.2%**(2014年)



### 保健衛生・栄養

慢性的栄養不良の5歳未満児 **47.7%**(2014年)



支援地域の住居の様子



## 平和再構築

支援地域は1994年のジェノサイドで数多くの犠牲者を生み出しました。人々の心にはいまだに不安や恐れ、疑心暗鬼の気持ちが残っています。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 心に傷を持つ住民のケア
- ジェノサイドの生存者と加害者が植樹などを共同で行うことによる、助け合いと相互理解の促進
- 青少年グループへの平和教育



ジェノサイドの生存者と加害者の間の赦しと理解を促します



## 教育

教師の指導力や学校の設備・教材が十分ではありません。また、教育の重要性についての親の理解不足や経済的状況から、子どもたちが教育を継続すること、特に中等教育への進学が難しいのが現状です。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 生徒数に対して足りていない教室、机、イス、教科書などの支援
- ジェノサイドやHIV/エイズなどで親を失った子どもへの職業訓練の機会提供



教室や机、イスの提供により、子どもたちの学習環境を整備します



## 食料確保・生計向上

土地が狭く痩せていることから伝統的農業では十分な生産ができず、食料確保が難しくなっています。余剰食料がないために収入手段としても限界があり、これが子どもの教育や保健に影響をおよぼしています。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 農業技術についてのトレーニング実施
- ビニールハウスや養蜂設備など農業設備の支援
- 家畜の飼育を開始するためのトレーニングと家畜の支給
- 貯蓄融資組合の普及



家畜の飼育を支援することにより、地域の人々の収入向上を助けます



## 保健衛生・栄養

食料や所得が少ないため人々の栄養状態が悪く、基本的な衛生意識も低いのが現状です。支援地域内には診療所や保健センターが少ないため、子どもや妊産婦を中心に予防可能な病で命を落とす人々がまだ数多くいます。

### ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 安全な水が得られるよう井戸や水タンクを整備
- 診療所の建設とヘルスワーカーに対する栄養や妊産婦ケアについてのトレーニング実施



地域内で必要な医療サービスが受けられるよう支援します



孫を抱くヴィルジェニアさん(左)と長女(右)

### 支援は人々の生活を変える力となります

ヴィルジェニアさんは若くして夫を亡くし、2人の娘を抱えて極貧の生活をしていました。娘たちと扉のない給水小屋に住み、近所の人に残飯をもらって暮らしていました。洗濯するための石けんさえ買うことができなかったと言います。

しかし、ワールド・ビジョンから雨漏りのしない家と乳牛1頭の支援を受け、生活は改善し始めました。「どん底の状態から救い出され、自尊心と希望を持って生きることができるようになりました」と話すヴィルジェニアさん。孫も元気に育ち、学校にも通うことができています。

ワールド・ビジョンは、ヴィルジェニアさんのような厳しい環境に置かれた人々に希望を届けるために、支援活動を行っています。